

# STREAM道

## 第4回 「世界初! UST配信機能を搭載したデジカメ登場」

◎川井拓也 (ヒマナイン)  
Twitterアカウント / @himanainu\_kawai

### 面白中継を見逃さないために 気になる人はTwitterで フォローしておこう!

USTにはTwitterとの連携機能があり、中継の発信者は、これを使って中継を始めたことを宣伝できる。中継が面白ければクチコミで視聴者が雪だるま式に増える。気になる人を見つけたら、Twitterでフォローしておくとなかなか生中継に出会えるチャンスが増えるはず。

### 6月の注目ストリーム

「ぴちゅんくんチャンネル  
24時間テレビ」



エアコンのダイキンが提供する24時間中継。スタジオでは着ぐるみのぴちゅんくんが愛嬌を振りまき、全国各地の「ウォーカー」編集部が番組を構成し、ボタンタッチしていくという形式。企業のUstといえば新製品発表会などが多い中で異色の展開はソーシャルストリームの反応も好意的だったようです。

### UST配信するまでの手順

Cerevoのホームページ (http://cerevo.com/) 左上にある専用サイト「CEREVO LIFE」へアクセスし、ユーザー登録する。



無線LANのSSIDや暗号化形式 (WPA/WEP) などを入力するとQRコードが表示される。それをカメラで撮影し、カメラ本体にその設定を保存する。最大10個までアクセスポイントに登録可。



※最新のファームウェア V2.04では初期登録時/無線LAN AP追加時に暗号化方式 (WEP/WPA) を自動認識するように改善。

写真のアップロードなど接続テストが終わったら、「外部サービス設定」で予め設定しておいたUSTREAMのアカウントとパスワードを登録する。



カメラを持ち出してよいよ配信へ。十字キーの左ボタンを押して、「ライブ撮影」>「USTREAM」を選択。カメラが起動したらシャッターボタンを押せば配信が開始される。

### ミニ三脚などが同梱される USTキットも

カラーバリエーションはマットブラックとマットホワイトの2種類。カメラ単体での販売価格は19,999円。左写真のミニ三脚、ワイコン、4GBのマイクロSDカードをセットにしたUSTキット (21,999円) やポケットWi-Fiとのセット販売もなっている。

### CEREVO CAM live!のインターフェイス

撮像素子は900万画素CMOSセンサーを搭載し、レンズは35mm換算42mm相当の単焦点。撮影に関する機能はホワイトバランス調整/露出補正、ISO感度調整、ストロボ発光モード切り替えなどの機能がある。



マイクロSDにも記録できる。 携帯電話用のワイコンを装着できる。

### カメラで直接 ファームアップできる



カメラをWi-Fiに接続した状態で「セットアップ」→「基本セットアップ」→「ファームウェアアップデート」→「ネットワーク・アップデート」の順にメニュー操作して設定する。

### 目玉機能はPCで遠隔操作も可能



WEBサイト「CEREVO LIFE」にアクセスし、サイト右上にある「USTREAM STATUS」から「リモコン」をクリックすると、右画面が立ち上がる。マイク音量、露出補正、ホワイトバランス設定、デジタルズーム (段階式)、画質モード※が設定できる。配信の一時停止はできるが、スタート・ストップの操作はできないようだ。



※画質モードは回線速度に応じて選択。ポケットWiFiなどの3Gルータを使う場合は「LOW」を推奨。

### 最新版ファームウェアv2.04で加わった主な機能

◎カメラ設定をPCから遠隔操作できるようになった。◎デジタルズーム操作。◎マイクゲイン (配信音量) を調整機能。◎配信中の画質変更。◎音声レベルメーター/レベル調整機能搭載。◎回線切断時、自動で再接続する機能を追加。◎回線状態が悪くなるとフレームレートを落とし、遅延を最小限にする改善を追加。◎配信チャンネルの閲覧者数 (Viewer数) を表示する機能を追加。etc. ....その他、詳細はセレボサポート掲示板に掲載 (http://cerevo.com/support/bbs/)。

ユーザーストリームは、WebカメラかiPhone、またはDVカメラから配信するというのが定番でしたが、そこに第四の選択肢が生まれました! それがセレボカムです。ファームウェアで進化させるセレボカムは単体でユーザーストリーム配信できる世界初のデジカメ。ユーザーストリーマーの意見を取り入れて生まれたその機能を見ていきましょう!

**ユーザーストリーム上の  
プレストで誕生したカメラ**

2009年の年末に神宮前ホワイトルームで会議が行われました。セレボの岩佐社長の呼びかけで集まったのが、ダダ漏れブームを作ったそのさんと筆者。その時の議題は「セレボカムがユーザーストリーム対応になったら欲しい機能は何?」という議題でした。その様子はユーザーストリームで中継され、多くの人がソーシャルストリームを通じて会議に参加しました (会議を中継しながら視聴者の意見を幅広く集めていくことを「ソーシャルブレインストーミング」と言います)。オンラインではセレボカムの技術者も参加しているの、寄せられた意見が技術的に可

能かどうか即時検討できました。こうして寄せられた機能が盛り込まれたのがユーザーストリーム対応セレボカムです。

**ファームウェアで  
進化するカメラ**

セレボカムのソーシャルプレストのテーマは「iPhoneにできない機能を盛り込もう」でした。そこで出てきたのが、デジタルズームによる「ポン寄り」やパソコンからのカメラコントロールなどのアイデア。今回の2.04のファームウェアアップデートではこれらの機能が搭載され、ユーザーストリームカメラとしての使い勝手が大幅に向上しました。特にカメラの一時停止機能には新しい中継映像の可能性が考えられます。

セレボカムで中継中に一時停止モードに入ると、カメラのマイクロSDカードに入っている特定の画像ファイルに切り替わるのですが、この画像ファイルを自分のオリジナルに差し替えることができ

ます。真っ黒な画像や真っ白な画像にすることもできるので、移動中に一時停止で黒コマや白コマをはさみ、映画的な表現にすることもできます。デジカメというハードウェアに、iPhoneのようなソフトウェアで機能が追加されていくという考え方がビルトインされたセレボカム。今後のファームウェアによる機能追加も楽しみです。

真つ黒な画像や真つ白な画像にすることもできるので、移動中に一時停止で黒コマや白コマをはさみ、映画的な表現にすることもできます。デジカメというハードウェアに、iPhoneのようなソフトウェアで機能が追加されていくという考え方がビルトインされたセレボカム。今後のファームウェアによる機能追加も楽しみです。



CEREVO CAM live!は無線LANに対応し、Ust配信が可能なデジカメ。ポケットWi-Fiと組み合わせれば、いつでもどこでもUst配信できるのは魅力的。今回のテストではCEREVO CAM live!を吸盤式カメラマウント (FAT GECKO: 13,800円) に取り付けて撮影してみた。今後の改善を望みたいがカメラには三脚穴がないため、上海問屋の携帯電話用三脚固定ホルダー (DN-100CC: 399円) をかませで装着した。